

国

語

(  
解答番号  
)

1

～

36

(

第4問

次の文章を読んで、後の問い(問1〜6)に答えよ。(設問の都合で送り仮名を省いたところがある。)(配点 50)

西施(注1)非ニ能ク亡レ吳ヨ也。A而後世以ニ亡国ノ之罪ニ歸ニ之。西施過矣。

I 使吳王不レ信ニ宰(注2)詔ヲ殺中伍胥(注3)内修国政外備敵人西施

一 嬪嬙耳何能為I 当时以ニ句踐(注5)之堅忍種(注6)蠡之陰計臥

薪嘗胆日伺其後III 而乃遠出(ウ)数千里争長黄池之間(注8)構

鬻艾陵之上窮師黷武殆無寧歲(1) IV 越人乘其空虚而傾

其巢穴V 此即無西施豈有ニ不亡者一哉。

吾觀ニ吳之亡也(注10)与秦之苻堅(2)相類ス二君荒淫精明固不

可レ同年而語而秦之亡以ニ伐晋致潰吳之亡以ニ越境而内

救不及其轍一也。然後知佳兵者自焚而攻遠者遺近。

元龜・格言必不可易也。

(侯方域「壯悔堂文集」による)

(注) 1 西施——春秋時代、越の国の女性。越王句踐の命令によって呉の国に遣わされ、呉王の心を奪った。

2 宰嚭——呉の宰相、伯嚭。

3 伍胥——呉王の臣下で、伯嚭の中傷によって自殺に追い込まれた。伍子胥とも言う。

4 嬪嬙——王に仕える宮女。

5 句踐——越の国王。句踐とも書く。

6 種・蠡——文種と范蠡。ともに句踐に仕えた人物。

7 争長黄池之間——「争長」とは、他国の諸侯と同盟の代表の座を争うこと。「黄池」は地名。

8 構鬻艾陵之上——「構鬻」とは、鬻(いけ)にえの血を祭器にぬる儀式)を行い戦争を開始すること。「艾陵」は地名。

9 窮師鬻武——軍隊を頻繁に出勤させ、兵力を濫用する。

10 秦之苻堅——五胡十六国時代、秦(前秦)の王。晋(東晋)を征伐しようとして大敗した。

11 荒淫精明——「荒淫」は酒色におぼれるの意。「精明」は聡明の意。

12 佳兵——優れた兵器。

13 元龜・格言——古くから伝わることばやことわざ。教訓や戒め。

問1 傍線部(1)「寧歳」・(2)「相類」の意味として最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。

解答番号は

29

30

(1) 「寧歳」

29

- ① 治安が改善された時期
- ② 平和で戦争のない期間
- ③ 健康に留意すべき年齢
- ④ 気候が穏やかな時節
- ⑤ 兵役が免除された世代

(2) 「相類」

30

- ① とともに協力し合う
- ② すべてに共通する
- ③ 互いに似ている
- ④ 意見を同じくする
- ⑤ それぞれに欠点がある

問2 傍線部A「而後世以亡国之罪歸之西施過矣」について、(i)書き下し文、(ii)その解釈として最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は

31

32

(i) 書き下し文

31

- ① 而るに後世亡国の罪を以て之を西施に帰するは、過てり。
- ② 而して後世亡国の罪を以て之に西施を帰すも、過ぎたり。
- ③ 而して後世亡国の罪を以て之に西施を帰がするは、過てり。
- ④ 而れども後世亡国の罪を以て之の西施を帰するは、過なり。
- ⑤ 而るに後世亡国の罪を以て之れ西施に帰るは、過ぎたり。

(ii) 解釈

32

- ① とはいえ、のちに呉王が、自分の罪に気がついて西施を越に戻したとしても、遅かったであろう。
- ② だからこそ、呉が滅んだ後に呉の人々は、呉の国を滅ぼした罪によって西施を責めたのである。
- ③ そののち、世の人が、呉を滅ぼしたのは越が西施を送り込んだためだ、と言いつらしたのである。
- ④ にもかかわらず、のちの時代の人が、呉の国が滅んだのを西施のせいにするのは、間違っている。
- ⑤ しかしながら、そののち越王が、呉の国を滅ぼすために西施を嫁がせたのは、やり過ぎであった。

問3 二重傍線部(ア)「何能為」・(イ)「日伺其後」・(ウ)「遠出數千里」の行為の主体はそれぞれだれか。その組合せとして

最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

33。

- |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| ⑤   | ④   | ③   | ②   | ①   |
| (ア) | (ア) | (ア) | (ア) | (ア) |
| 西   | 宰   | 西   | 呉   | 呉   |
| 施   | 嚳   | 施   | 王   | 王   |
|     |     |     |     |     |
| (イ) | (イ) | (イ) | (イ) | (イ) |
| 宰   | 呉   | 句   | 句   | 種・蠡 |
| 嚳   | 王   | 踐   | 踐   |     |
|     |     |     |     |     |
| (ウ) | (ウ) | (ウ) | (ウ) | (ウ) |
| 呉   | 西   | 呉   | 西   | 句   |
| 王   | 施   | 王   | 施   | 踐   |

問4 本文の第二段落を五つの文(I～V)に分けた場合、それぞれの文の表現と内容の特徴を説明したものととして最も適当

なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 34。

① I 「使呉王…」は、仮定の問いかけを用いて、呉の滅亡は呉王にこそ求めるべきであるという従来の見解に対して、疑問を投げかけている。

② II 「当時以…」は、「臥薪嘗胆」という四字熟語を用いて、越の軍隊を攻撃するために、呉がひそかに力を蓄えていたことを表現している。

③ III 「而乃遠…」は、呉と越との戦いを具体的に列挙して、両国の攻防が長年にわたって、しばしば繰り返されていたことを印象づけている。

④ IV 「越人乗…」は、呉の首都を「巢穴」に喩えること<sup>たと</sup>によって、呉を滅ぼすことは小動物を捕らえるように容易であったことを示している。

⑤ V 「此即無…」は、仮定形と反語形を併用することによって、呉の滅亡に対する従来の見解を否定し、筆者自身の意見を強く主張している。

問5 傍線部B「其轍一也」は、ここでは「呉王と苻堅の歩んだ道は同じであった」と解釈できる。この両者についての具体的

な説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

35。

- ① 呉王と苻堅とは個人の資質もその結末も全く同じであった。いずれも歓楽にふけて民を顧みず、隣国の攻撃に対する備えを怠ったために滅亡したのである。
- ② 呉王と苻堅とに個人の資質の上では違いがあっても、二人の結末は全く同じであった。いずれも優れた人物を殺害して政治の方向性を見失ったために滅亡したのである。
- ③ 呉王と苻堅とはその結末に違いがあっても、個人の資質は全く同じであった。いずれも贅沢ぜいたくを好み戦争を好んで、国内の政治をおろそかにしたため滅亡したのである。
- ④ 呉王と苻堅とは個人の資質もその結末も全く同じであった。いずれも有能な人物を殺害し戦争を好んで他国を侵略し、そこで大敗したために滅亡したのである。
- ⑤ 呉王と苻堅とに個人の資質の上では違いがあっても、二人の結末は全く同じであった。いずれも他国に遠征して自国の危機に気付かなかつたために滅亡したのである。



問6 傍線部C「元龜・格言」を筆者が引用した意図の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解

答番号は 36。

- ① 呉王の事跡および呉王と苻堅との比較を通じて、呉国の滅亡は、呉王の為政者としての資質にその原因があったことを、教訓や格言を引用して論証しようとしている。
- ② 呉国の滅亡は、呉王と西施との関係から説明されるものではなく、越王とその臣下らの巧みな策略によるものであることを、教訓や格言を引用して証明しようとしている。
- ③ 為政者として強大な軍隊を統御し続けることは、個人の資質や時代状況に関係なく、常に困難を極めるということを、教訓や格言を引用して強調しようとしている。
- ④ 為政者として軍事力を安易に行使用すると必ず自滅を招くこととなり、それはまたいつの時代にも繰り返されていることを、教訓や格言を引用して警告しようとしている。
- ⑤ 呉国の滅亡は、容易には理解できない深遠な理由に基づくものであり、為政者は常にその意味を考えなければならぬと、教訓や格言を引用して提言しようとしている。